

テーマ 「ヒト・ひと・人」



## 「人間性の起源とゆくえ：霊長類学と臨床哲学の対話」

### 第一部 講演

講演①	サル化する人間社会	講演②	ケアの臨床哲学 ～生老病死の現場から～
-----	-----------	-----	------------------------



講師：山極 壽一 氏  
京都大学総長

【略歴】

1952年東京生まれ。京都大学理学部卒、同大学院理学研究科博士課程修了、理学博士。(財)日本モンキーセンター研究員、京都大学霊長類研究所助手、同大学院理学研究科教授を経て、現在京都大学総長。

日本霊長類学会会長、国際霊長類学会会長を歴任、日本学術会議会員、環境省中央環境審議会委員、国立大学協会副会長。霊長類の行動や生態をもとに初期人類の生活を復元し、人類に特有な社会特徴の由来を探っている。



はまうず しんじ  
講師：浜渦 辰二 氏  
大阪大学大学院文学研究科教授

【略歴】

1952年高知県生まれ。九州大学大学院文学研究科博士課程(哲学)単位取得後退学、博士(文学)。(旧西)ドイツに2年間留学後、同大学助手、静岡大学人文学部助教授、同教授を経て、2008年4月大阪大学大学院文学研究科(臨床哲学)教授、現在に至る。

フッサーの間主観性の現象学から出発し、その後、静岡大学でフッサー研究と並行して、広い意味でのケアの問題に現場の実践者たちとともに取り組み始め、「ケアの臨床人間学」という構想を持ち、その構想を「ケアの臨床哲学」として継承しながら、ここ数年は、専門家・非専門家を超えたケアに関する対話の場を継続する一方で、北欧ケアの国際的・学際的共同研究を進めている。この4月からは北欧現象学者たちとの共同研究に基づく「人間の傷つけやすさと有限性の現象学的研究」を始めている。

日時 平成28年12月10日(土)  
15:00~18:05(受付14:00~)

場所 梶山女子学園大学星が丘キャンパス  
文化情報学部メディア棟001室

■主催：梶山人間学研究センター ■後援：愛知県、名古屋市、日進市、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、日進市教育委員会

### 第二部 コメント 第三部 パネルディスカッション

山極 壽一 氏  
京都大学総長

浜渦 辰二 氏  
大阪大学大学院文学研究科教授

三浦 隆宏 氏  
梶山女子学園大学人間関係学部准教授

竹ノ下 祐二 氏  
中部学院大学教育学部准教授

参加費無料

定員250名

ベビーシッターによる託児あり  
《事前申込制》

2歳以上7歳未満の未就学児に限ります。

※ 定員になり次第締め切らせていただく場合がございます。  
※ 会場内の雰囲気を保つため、未就学児のご入場は、ご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。

# 楣山女学園創立111周年記念 楣山フォーラム

テーマ 「ヒト・ひと・人」

Sugiyama  
人間になろう

## Program

開会挨拶・趣旨説明・演者紹介	15:00 ~ 15:15
第一部	
講演① サル化する人間社会	15:15 ~ 16:35
講師 山極 壽一 氏 京都大学総長	講師 浜渕 辰二 氏 大阪大学大学院文学研究科教授
第二部	
コメント	16:45 ~ 17:15
講師 山極 壽一 氏 京都大学総長 × 講師 三浦 隆宏 氏 楣山女学園大学人間関係学部准教授	講師 浜渕 辰二 氏 大阪大学大学院文学研究科教授 × 講師 竹ノ下 祐二 氏 中部学院大学教育学部准教授
第三部	
パネルディスカッション	17:15 ~ 18:00
講師 山極 壽一 氏 京都大学総長	講師 浜渕 辰二 氏 大阪大学大学院文学研究科教授
講師 三浦 隆宏 氏 楣山女学園大学人間関係学部准教授	講師 竹ノ下 祐二 氏 中部学院大学教育学部准教授
閉会挨拶	18:00 ~ 18:05

総合司会 杉藤 重信 氏(楣山女学園大学人間関係学部教授)

第二部・第三部司会進行 五百部 裕 氏(楣山女学園大学人間関係学部教授)

## Profile

やまがわ じゅいち  
**山極 壽一 氏**  
京都大学総長



みうら たかひろ  
**三浦 隆宏 氏**  
楣山女学園大学人間関係学部准教授

はまうず しんじ  
**浜渕 辰二 氏**  
大阪大学大学院文学研究科教授



略歴 表面記載  
専門は臨床哲学・倫理学。1999年、関西学院大学文学部哲学科卒業。2004年、大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(文学)。2012年4月、楣山女学園大学人間関係学部心理学科に講師として着任。2016年4月より現職。

ハンナ・アーレントの政治理論を研究するとともに、2001年から「哲学カフェ」という、だれもが自由に参加できる哲学的な対話・会話の場を、社会のさまざまな現場のなかにつくりだす活動に継続して取り組んでいる。

略歴 専門は、霊長類学・人類学、子ども学。2000年、京都大学大学院理学研究科(生物科学専攻)修了。博士(理学)。(財)日本モンキーセンターリサーチフェローを経て、2007年より、中部学院大学准教授に就任、現在に至る。

現在の研究テーマは、「協同育児の進化」。野生大型類人猿の野外調査のほかに、ヒト幼児や「イケメンゴリラ」で知られる東山動物園のゴリラの観察も行っている。研究者と学生の先生の連携による科学教育などの社会教育活動にも取り組んでいる。

いはべ ひろし  
**五百部 裕 氏**  
楣山女学園大学人間関係学部教授

略歴 1991年、京都大学大学院理学研究科博士後期課程修了。博士(理学)。1993年京都大学理学部助手、2000年楣山女学園大学人間関係学部助教授に着任。2005年楣山女学園大学人間関係学部教授、現在に至る。霊長類の行動や生態の研究を通して、人類の持つさまざまな特徴の起源や進化過程について研究している。最近は、とくに狩猟・肉食行動や対捕食者戦略に焦点を当てた研究を行っている。

すぎとう しげのぶ  
**杉藤 重信 氏**  
楣山女学園大学人間関係学部教授

略歴 専門は文化人類学。1982年、甲南大学大学院人文科学研究科応用社会学専攻博士課程(後期課程)単位取得満期退学。1995年より現職。

文化人類学における家族・親族領域に関する研究を行っており、オーストラリア・ニュージーランド・ミクロネシアほかオセアニア地域をフィールドとしている。特に、最近ではオーストラリア・アボリジニ社会文化の変容過程に関する研究を中心に、アボリジニ社会における家族・親族に関するデータベース(親族データベース・マネジメント・システム)の開発に従事している。

申込期限 平成28年12月2日(金)必着

申込方法

ホームページ、FAXまたはメールにてお申込みください。

定員を超過した場合は、モニター室でのご視聴になる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

ホームページからのお申込み

楣山人間学研究センターのホームページから、お申込みください。



新着情報の「学園創立111周年記念 梅山フォーラムのご案内」をクリックしてください。



【申込方法】の「インターネットでのお申込み」にあるURLをクリックしてください。

梅山フォーラム申込みフォーム

申込みフォーム内の各項目に入力の上、  
[申込み]ボタンをクリック

<http://shrc.sugiyama-u.ac.jp/>

梅山人間学研究センター

検索



QRコードを読み取り、スマートフォンからも  
お申込みいただけます。

FAX またはメールでのお申込み

FAX → 052-781-8115 メール → [ningen@ml.sugiyama-u.ac.jp](mailto:ningen@ml.sugiyama-u.ac.jp)

申込書	フリガナ			
	氏名			
	〒			
	住所			
電話	参加人数	名(代表者含む5名様まで可)		
【質問事項】質問がある場合は、ご記入ください。ただし、時間の都合によりお答えできない場合がありますので、ご了承ください。				
託児希望	あり・なし	氏名 受講中の緊急連絡先	(才) 氏名 お子様について特に留意すること	(才)



※申込みに際してお預かりした個人情報は、フォーラム以外の目的で使用することはありません。※会場内の雰囲気を保つため、未就学児の入場はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。

※駐車場はご利用しておりません。公共交通機関をご利用ください。